

報告



10月例会「スクゥスクゥの森」

～景観整備＆クラフト体験～

10月23日(日曜)

参加者45名(会員32名 地域10名 学生3名)

報告: 4班 富田 実

景観を整備して、学びの場をすがすがしい森に。これからも継続して取り組もう！



「スクゥスクゥの森」は、地域貢献活動や学校間交流事業など、様々な活動の場として、活用させて頂いております。しかし、昔伐倒したままの丸太などの樹木や、竹林の伐採整備の棚積跡、風雨による倒木や落下した大きな枯れ枝など、学び



ステキなフォトスタンドができました。



妙國寺ご住職もクラフトに参加(左)

の場として利用する上では、もっと全体の景観を整える必要があるように感じていました。そのような思いから、当日は41名が一丸となって景観整備に当たりました。

朝のミーティングと体操を終え、作業開始前に、まず、全体の森の様子を知るために全員で整備エリアを見学しました。歩きながら見勢井顧問にこれまでの取り組みを説明して頂き、その後、各班に分かれ、早速それぞれの作業場所の整備に取りかかりました。

《A班》は山桜の救出。山桜にコナラが絡まり成長を妨げ瀕死の状態。ただ、樹高がかなり高く簡単には伐倒ができない絡み具合であり、今回は周辺の支障木伐採に止め、次回の課題としました。《B班》は散策道が雨水の浸食で水路となり、道が塞がれた場所への丸太橋の設置を主な作業として行いました。丸太約4m×4本を利用。併せ、担当者の巧み技を駆使して完成！施工担当者のサイン入り「〇〇橋？」となりました。散策される時に是非その成果を見てください。《C班》は倉庫周辺の廃材除去並びに、増築予定地の整備と道沿いの支障木処理を行いました。多くの廃材が散乱し、美観を損ねておりましたが、皆さんの力を結集し新たな棚を設置するなど、集積もスムーズに進み綺麗に整備されました。《D班》は竹林内の整備を主に行いました。過去に棚積した材が散乱した状態であり、かなり重い作業になりましたが、皆さんの協力で集積場所を変えると共に、竹類と枯れ木類を選別するなど工夫した結果、見違えるほど景観が良くなりました。

午後からは、倶楽部のクラフト体験希望者と、学生、地域のみなさんで「フォトスタンド」を作りました。クラフトの部材は、妙國寺で古くから屋根を支えた野地板を再利用、思い
思いに「マイフォトスタンド」を楽しく創作されました。きっと皆さんには、妙國寺さんのご利益のある、お土産になったと思います。

昼食は、地元の食材を利用した栗のおむすびや、具沢山の汁、果物や複数の料理を美味しく頂戴しました。食材を提供いただいた皆さまや料理を準備して頂いた地元の方々、誠にありがとうございます！

今回も事故なく楽しく作業を終える事ができました。しかし色々やり残した事もあり、今後も継続して「スクウスクの森」の景観整備を企画していきたいと思っております。特に、この場で学ぶ児童たちの目に映る森は、綺麗？美しい森？雑然とした森？等々一度聴いてみたいと思います。何か、改善点が見えるかもしれません。

